

4 木製棒はかり(小型)・おもり



これらのはかりは、江戸時代末期及び明治時代頃に作られたものです(推定)。

「竿はかり」と呼ばれることもあり、はかりたいものをカギにひっかけ、逆側におもりをかけて左右に動かして水平になった位置の目盛を読み取ります。

棒はかりに使用するおもりも

展示されており、金属製が多いですが中には戦時中の鉄不足により代替として作られた陶器製のおもりも展示されています。